

英語Ⅳ (English Ⅳ)		4 年・通年・2 学習単位 (β)・必修 5 学科共通・担当 神澤 和明
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 3	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-2(80%), A-1(20%)	〔JABEE 基準〕 f, a
<p>〔講義の目的〕</p> <p>学生諸君は将来、研究の場や仕事の場において英語で書かれた文書を読み、また英文を書くことを求められる。これまで養成してきた英語の基礎力を、実践的な力としてゆくために、速読・多読の習慣をつけてゆく。また文法事項や語彙力において、十分に身につけていない部分があれば、これを補完してゆく。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>科学事項に関連した内容をテーマとした、明快で論理的に書かれた英文エッセイを読んでゆく。授業を通じて、英語で書かれた文章を読み解く感覚と論理性を持たせたい。英文の意味はある程度まで感じ取るが、文意がつかめないと、うまく表現ができないといった、「国語力不足」の学生が多いので、文章の読解力、表現力の指導も合わせて行う。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>英文を自分の力で読んでゆく姿勢が、卒業後を考えれば絶対に必要である。授業時に発表させ、不備な点があれば、指導してゆくので、少々はわからないところがあっても、授業で読む英文を必ず自分で予習してくること。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>前期中間試験： 基礎的な文法事項のブラッシュアップ。 前期末試験： 基礎的な語彙力のブラッシュアップとレベルアップ。 後期中間試験： 文章の文意を読み取る力を伸ばす。 学年末試験： 英語力全体のレベルアップ。</p>		
<p>〔自己学習〕</p> <p>授業で読むテキストの予習はもちろん、それ以外になるべく多くの英文を読み、かつ書くことを心がける。必要にあわせて、図書館等にある英語読本や、参考書・問題集を利用して学習すること。英語力を伸ばすことは、進学、就職を問わず大切なことである。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>定期試験に基づく試験点 (60%)、課題や小テストによる評価 (20%)、授業での発表点 (20%)。TOEIC, 英検等の外部評価も評価の参考とする。学生の自主的学習についても考慮する。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>Science And Human Beings 「科学と人間」 Isacc Asimov 著、谷岡淑郎 (注解) 成美堂刊。</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>随時、自作プリントを配布する。</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕</p> <p>英文読解Ⅲ。 あらゆる英文文書。また、日本語の文書もできるだけ読む習慣をつけること。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	ガイダンス、実力チェック	
第2週	A Bone Speaks Volumes	人類の発話能力の発生について	
第3週	The Relentless Population Rise	激しい人口増加の問題について	
第4週	Getting Old	遊離基と老化の関係について	
第5週	Improving on the Diamond	人工ダイヤモンドの生成における画期的発明	
第6週	The Head of a Pin	無限と有限の概念について	
第7週	前期中間試験		
第8週	Dinosaurs Everywhere	大陸移動説について	
第9週	Squashed Sand	恐竜死滅の減員は隕石落下か火山噴火か	
第10週	The Ozone Hole	オゾン層の重要性	
第11週	Superstars?	太陽の質量の60倍以上の星は存在するか	
第12週	Summary 2	これまでの確認	
第13週	The Egg on Land	卵に見られる生物の進化	
第14週	Ants and the animal Kingdom	地球に存在する種における、節足動物の位置づけ	
第15週	Ostrich Eggs and Human kind	ダチョウの卵を使った年代測定法	
前期末試験			
第16週	Vital Cooperation	社会的動物にみる自然界の協調性	
第17週	Left, Right	利き腕と脳の関係について	
第18週	Space Watch	宇宙における小惑星との衝突の危険性	
第19週	False Alarm	新発見がしばしば誤りとわかること	
第20週	Summary 3	これまでの確認	
第21週	Garbage	ゴミ処理問題と、新しく生まれるゴミについて	
第22週	Monsters	人間の想像力が生み出す怪物たち	
第23週	後期中間試験		
第24週	Noise	さまざまな騒音への対策	
第25週	The First Step in Synthesizing Life	生命の誕生の秘密をさぐる	
第26週	Saving the Species	絶滅種の保護について	
第27週	Future Robots	ロボット工学の将来について	
第28週	Why Is the Sky Dark?	「オルバーの矛盾」について	
第29週	The Bending of Light	相対性理論と光の屈折	
第30週	Summary	総復習	
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)